


## Ursula and Fritz Melchers Travel Award を受賞して

氏名	磯部 順哉	
所属	慶應義塾大学 大学院 薬学研究科 薬学専攻 博士1年	
発表論文 タイトル	Commensal bacteria-derived metabolite induce colonic IgA producing cells	

この度は、Ursula and Fritz Melchers Travel Award に選出頂き大変光栄に存じます。Fritz 博士ご夫妻ならびに選考委員の先生方に心より御礼申し上げます。また、本賞に推薦いただいた長谷耕二先生をはじめ、日頃よりご指導頂いております研究室の先生方に感謝申し上げます。

この度の免疫学会では腸内細菌由来代謝物によるIgA誘導機構の解明について発表させて頂きました。分泌型IgAは腸管粘膜において、腸管バリアの構築に中心的な役割を果たしています。例えば、病原微生物に結合することで生体内への侵入を未然に防いだり、毒素を中和したりしています。また、腸内細菌のバランス因子としても知られています。

本学術集会では腸内細菌由来代謝物である短鎖脂肪酸、特に酪酸が大腸におけるIgA誘導機構には重要であることを発表させて頂きました。さらに、酪酸によるIgA誘導機構はT細胞非依存的な機構であり、酪酸が樹状細胞に作用しIgA誘導因子の発現を上昇することでIgAが誘導されることを示唆しました。

この度の学術集会では上記内容を口頭発表させて頂き、英語でのディスカッションにはまだまだ練習が必要だと感じましたが、多くの方々から今後の研究の参考になるご意見を頂き、大変有意義な経験でした。

今回頂いた本賞を励みとし、今後ともより一層研究に取り組んでいきたいと思っております。

注) 本参加記は手書きでなく、ワープロを使用して作成してください。